

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	262003	事業期間	平成 26 年度～平成 30 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
日本発水産学発信強化		公益社団法人 日本水産学会	代表理事 塚本 勝巳
学術刊行物の名称			(略称)
Fisheries Science			FS

【平成 28 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>当初の 4 つの目標は、現時点で、まだ十分に達成されているとはいえない。また、平成 28 年度のインパクトファクターが低迷していることについては、その対策案が示されていない。</p> <p>例えば、学会賞受賞者による総説の掲載数を増やすことや、海外編集委員の更なる増加、国際プロモーション活動として海外で開催された関連学会での展示実施の費用対効果を検証するなど、抜本的改善が必要である。</p>	